



The 49th Annual Meeting of the Japanese Association for Acute Medicine  
第49回日本救急医学会総会・学術集会

# 感染予防対策としての 簡易ストレッチャーフードの作成

千船病院 救急診療部

山下公子



## 目的

- 気道確保の際に頭部を覆う簡易ストレッチャーフードを作成し、医療者の負担を軽減する。
- 既存のアクリルボックスのデメリットを解消する方法を検討する。



## 方法

- 近隣のアルミフレームメーカーの協力で、当院のストレッチャーに差し込むだけで取り付けでき、HEPAフィルター搭載のフードを作成した。



ADF



## 結果

- アクリルボックスでは腕の動きが制限されたが、ビニールカーテンにすることで可動性があがった。
- HEPAフィルターにより内部の陰圧を保持でき、カバー除去時の飛沫の飛散を軽減することができた。
- ストレッチャーフード導入後、52人の患者に使用した(2021年5月4日まで)が、スタッフへの感染は発生していない。





## 考察

- 救急で緊急気道確保が必要となる場合、患者の情報が不十分なまま処置を優先せざるを得ないことも多く、感染防護具や気管挿管補助機器を使用しているにもかかわらず、飛沫を浴びるリスクは高く処置時の精神的な負担は大きい。
- 今回作成したストレッチャーフードはアクリルボックスよりも処置を行いやすく、感染リスクも軽減できると考えられる。
- 今後もさらに改良をすすめていきたい。



## 結語

- 簡易ストレッチャーフードの使用で医療者の負担軽減が期待される。



株式会社エーディエフ ([adf-al.com](https://adf-al.com/))

<https://adf-al.com/>

**ADF**